

g 第3回尚恵学園在り方検討委員会議事録

◇日 時：平成28年10月12日（水）18:30～20:20

◇場 所：いな穂

◇結 果

会議は、次第とは逆の順に進められ、初めに「3その他」の事項について、以下のように報告された。

(1) 旧成人寮建物の撤去に関し明らかになった問題点として、別紙（参考資料）により、平成23年度に茨城県社会福祉施設等耐震化等臨時特例交付金特別対策事業（スプリンクラー整備事業）で国庫補助金が約1千万円入っており、建物の撤去はすぐには出来ないことがわかった。当委員会は、当分は旧成人寮本体ありきで尚恵成人寮跡地利用を検討することとなる。

(2) 旧成人寮跡地インフラ整備については、旧成人寮の撤去を踏まえて、現在、自活寮ぼたんのライフラインを既存の設備から独立した供給体制に改善する工事を進めている。

下水道については、旧成人寮の浄化槽で浄化した後、下の神立都市下水路に流しているが、これを、正門前にある公共下水道汚水柵に生放流する工事。今週中に、3者から見積りが出てくるので業者を決定し、今月中に工事に入る。

上水道については、市の上水道を、旧成人寮の受水槽（傾いており、内部の衛生状況も心配。）を使わないで効率良く引き込む方法を検討中。

電気については、当分大量の電気を使うことはないため、キュービクルの利用停止の手続きを取っており、今後は、電柱（のトランス）から直接100～200ボルトの電気を引いて使用する。（これにより、年間保守点検料が節約できる。）

(3) 神立都市下水路の改修については、参考資料（理事長が市に改修を要望したことに対する市の回答文）により、市は神立都市下水路の改修は非常に困難と判断し、現在すでに菅谷町の方へ分散して排水する方法を採用し工事等を行っていることが判明、神立都市下水路の改修は当分の間は行われなことを確認した。

2. 職員アンケートの実施の方法について

次に、職員に対するアンケートの実施案を検討。

藤枝委員よりアンケート調査項目案が出され、今後、本日までの検討結果をもとにまとめる予定の「尚恵学園の将来に向けた課題」を踏まえてさらに項目を整理し、11月にアンケートを実施するよう進めることとなった。

3. 将来に向けた課題の整理

在り方検討委員会においては、本日第3回までで課題の抽出を終えることとなっており、本日は、各委員から表題の8つの項目ごとの課題について詳細に発言された。

これについては、これからすぐに報告書担当委員5名（富永、埴、菅谷、山口、植村の各委員）が整理しとりまとめる作業に入る。

以上により、本日第3回の在り方検討委員会は終了した。

なお、これからはいよいよ本題である当学園の今後の方向性（在り方）の検討に入ることとし、次回は11月9日（水）6:30に開催する予定となった。